

鬼の霍乱

de JA1RIZ

罹るまい、と思っていたコロナに罹ってしまったという話です。

8月下旬、X Y Lが急に38℃台の発熱。そして、クリニックに行って陽性判定。自分も、いわゆる家庭内「濃厚接触」という形。その後、発熱があり。これはコロナかと注意はしたが、倦怠感・咳・のど痛と特徴的な症状が現れる。解熱剤を飲むなどし、翌日クリニックで検査の結果、やっぱり「陽性」と確認。

3日ほどかかりましたが、発熱－解熱剤－発熱－解熱剤などの薬の服用の繰り返しで、なんとかおさまりました。のど痛剤、咳止め等も飲みました。

期間中の得意事項は倦怠感。又、味覚・臭覚もなくなり、報道されていた通り、ああこんな症状になるのかと実感させられた訳です。

又、基本的には、外出禁止でしたが、飲料や食料の調達にはマスクを2重にして止む無く外出もしました。コロナの当初は、食料の配給があったり無かったり、又、入院、ホテルへ隔離など大変なことでしたね。

調査も、濃厚接触の人の確認、伝染ルート調査、消毒...いろいろ大変なことだった。

X Y Lがなぜ罹ったのか？いまだに分かりません。我が家の見解は、タブンの領域ですが、発熱前日の美容院のせいだろうということになっている。用心のため外出時はマスク着用のところ、美容院では作業しにくいとの理由でマスクを外していたとのこと。マスク外しはそれだけだったという。

後日談として、約1ヶ月又、その美容院に行ったらマスク着用になっていたと言う事でした。公表されていないが、「集団感染」のようにになっていたのかも、ですね。

我が家では、この件に関して、かん口令は敷かなかったので隣近所にコロナになったことが知れていた。近所界限でも、以前からハッキリ言っていなかったが、後になってあの時はコロナ陽性だった等の話をあちこちで聞き、かなり蔓延していたのだと思った。特に子供がいる家庭では繰り返し罹っているとのことであった。

後遺症も心配したが、特段の症状は出ていないのでホッとしているところです。

東京都の感染情報によれば、入院患者数は今年1～2月レベルになっていて、まだまだ警戒が必要のようです。各局もご自愛ください。

(完) (9月頃の文章の為、ちょっと時季外れでした。)